

平成14年度 建設技術報告会 実 施 報 告 書

平成15年2月

北陸地方建設事業推進協議会
建設技術報告会実行委員会

目 次

1. 「平成14年度 建設技術報告会」開催概要	1
2. 実施内容	2
3. 準備及び運営	6
4. 広報	14
5. アンケート	23
6. 開催状況写真	33

1. 「平成14年度 建設技術報告会」開催概要

1) 名称

「平成14年度 建設技術報告会」

2) 開催目的

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催する。

3) 開催日時

平成14年10月17日(木) 9:30~17:00
○ 開会挨拶 9:30~ 9:40
○ 記念講演 9:40~10:40
○ 技術報告 10:50~16:50
○ 閉会挨拶 16:50~17:00

4) 会場

ボルファートとやま 富山市奥田新町81番地
(第一会場：琥珀の間 定員360名、第二会場：珊瑚の間 定員210名 計570名)

5) 実施体制

この報告会は、北陸地方建設事業推進協議会の活動の一環として、関係諸団体で構成した「平成14年度北陸地方建設事業推進協議会『建設技術報告会』実行委員会(実行委員長：北陸技術事務所長)」の主催で実施した。

(主催構成機関)

- ・北陸地方整備局
- ・新潟県
- ・富山県
- ・石川県
- ・日本道路公団北陸支社
- ・(社)新潟県建設業協会
- ・(社)富山県建設業協会
- ・(社)石川県建設業協会
- ・(社)日本土木工業協会北陸支部
- ・(社)日本道路建設業協会北陸支部
- ・(社)日本建設機械化協会北陸支部
- ・北陸土木コンクリート製品技術協会
- ・(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部
- ・北陸PC防雪技術協会
- ・北陸建設リサイクル協会
- ・新潟県融雪技術協会
- ・(財)新潟県建設技術センター
- ・北陸地質調査業協会
- ・(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
- ・(社)北陸建設弘済会

6) 報告技術のテーマ

- ①雪に強い地域づくり
(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術等)
- ②良いものを安く
(生産性向上、コスト削減、省力化に関する新技術等)
- ③自然災害からの安全確保
(危機管理、土石流などの防災に関する新技術等)
- ④環境の保全と創造
(建設副産物、リサイクル、省エネルギーに関する新技術等)
- ⑤ゆとりと福祉
(情報化、バリアフリーに関する新技術等)

2. 実施内容

1) 平成14年度「建設技術報告会」報告技術一覧表

機関名	番号	報文題名	テーマ	会社名
富山県	1	富山県土砂災害情報システム(SABONA)について	③	富山県
(社)富山県建設業協会	2	河川改修とイタセンパラの共存	④	富山県ピオトップ研究会 (三久建設(株))
(社)石川県建設業協会	3	交通振動低減のため防振ゴムを敷設する工法「MBM工法」	⑤	真柄建設(株)
(社)日本土木工業協会 北陸支部	4	地下水流動阻害対策としての両面型壁内井戸工法	④	清水建設(株)
	5	新潟大堰戸当り修繕工事の施工実績について	①	鹿島建設(株)
	6	NDR工法(水中橋脚耐震補強のための仮締切工法)	②	五洋建設(株)
	7	底泥置換覆砂工法の開発	④	大成建設(株)
	8	栈橋のプレキャスト施工技術	②	佐伯建設工業(株)
	9	新しい廃棄物最終処分場システムの紹介	④	(株)大林組
	10	高濃度薄層浚渫装置による湖沼浚渫について	④	(株)本間組
	11	小倉ダムに於けるコア・フィルタ転圧管理システムについて	②	(株)フジタ 小倉作業所
(社)日本道路建設業協会 北陸支部	12	自然循環方式水処理システム	④	鉄建建設(株)
	13	表面処理型機能性舗装 RAペーパー	①	大林道路(株)
	14	凍結抑制舗装『ザベック工法タイプG』	①	世紀東急工業(株)
	15	性能規定(低騒音)対応舗装の汎用化へのアプローチ	②	北川ヒューテック(株)
	16	車道用半たわみ系保水性舗装「クールロード」について	④	大成ロテック(株)
	17	SSRDマット(舗装補強型防水マット)	②	飛島道路(株)
	18	性能規定発注方式における排水性舗装の施工事例	②	前田道路(株)
	19	環境に配慮した高性能乳剤について	④	福田道路(株)
(社)日本建設機械化協会 北陸支部	20	-冬期間路面管理に即応する舗装-表面排水性舗装「スーパーエスマック」	①	日本舗道(株)
	21	自走式土質改良機による建設発生土の現場内利用	④	コマツ
	22	乳剤散布装置付アスファルトフィニッシャーによる高機能舗装	②	新キャタビラー三菱(株)
	23	地下空間浸水防止施設の開発	③	豊国工業(株)
北陸土木コンクリート製品技術協会	24	アフタークローラ付きポータブルエアコンプレッサ PDS-Cタイプ	①	北越工業(株)
(社)プレストレスト・コンクリート協会 北陸支部	25	電線共同溝の標準化について	⑤	新和コンクリート工業(株)
北陸PC防雪技術協会	26	吊床版構造を応用したPC曲弦トラス橋の建設	②	住友建設(株)
北陸建設リサイクル協会	27	雪崩および落石の数値シミュレーションについて	③	東京コンサルタンツ(株)
新潟県融雪技術協会	28	移動式フォームプラントにより強化路盤を構築するSKP工法	④	鹿島道路(株)
北陸地質調査業協会	29	道路消雪井戸の点検修繕効率化技術の開発	②	(株)興和
(社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	30	景観及び自然斜面特性を考慮した新しい斜面安定工法について	③	ダイチ(株)
	31	岩盤斜面のくさび崩壊メカニズムと対策工法	③	日本工営(株)
13機関		31技術		

テーマ別 応募数

テーマ	応募数
①雪に強い地域づくり	5
②良いものを安く	9
③自然災害からの安全確保	5
④環境の保全と創造	10

2. 実施内容

1) 平成14年度「建設技術報告会」報告技術一覧表

機 関 名	番 号	報 文 題 名	テ ー マ	会 社 名
⑤ゆとりと福祉	2			
合計	31			

2)平成14年度 建設技術報告会聴講者(実績)

機関名		聴講者数							
		事前申込人数				受付人数(実績)			
		第一会場	第二会場	計		第一会場	第二会場	計	
国土交通省	北陸地方整備局	50	33	83	95	33	27	60	69
	他地方整備局	5	7	12		5	4	9	
自治体関係	新潟県	-	-	0	11	4	4	8	22
	新潟県 市町村	7	4	11		9	5	14	
	富山県	3	9	12	50	3	7	10	44
	富山県 市町村	17	21	38		16	18	34	
	石川県	1	1	2	8	1	1	2	7
	石川県 市町村	3	3	6		2	3	5	
	長野県	5	3	8	5	3	8		
	福島県	1	3	4	1	3	4		
	岐阜県	2	2	4	1	1	2		
日本道路公団	日本道路公団 北陸支社	5	0	5	3	0	3		
小計		99	86	185	83	76	159		
協会等：主催	(社)新潟県建設業協会	10	18	28	8	17	25		
	(社)富山県建設業協会	50	73	123	35	44	79		
	(社)石川県建設業協会	13	5	18	11	3	14		
	(社)日本土木工業協会	23	30	53	22	23	45		
	(社)日本道路建設業協会	96	10	106	83	7	90		
	(社)日本建設機械化協会	18	26	44	12	20	32		
	北陸土木コンクリート製品技術協会	7	4	11	6	4	10		
	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	11	1	12	9	1	10		
	北陸PC防雪技術協会	7	0	7	7	0	7		
	北陸建設リサイクル協会	0	0	0	0	0	0		
	新潟県融雪技術協会	8	0	8	7	0	7		
	(財)新潟県建設技術センター	1	0	1	1	0	1		
	北陸地質調査業協会	14	65	79	8	38	46		
	(社)建設コンサルタンツ協会	12	15	27	7	11	18		
	(社)北陸建設弘済会	4	4	8	4	2	6		
小計		274	251	525	220	170	390		
協会等：その他	(社)日本埋立浚渫協会	1	6	7	2	5	7		
	(社)日本測量協会	-	-	0	0	0	0		
	(社)建設電気技術協会	4	20	24	1	15	16		
	(財)先端建設技術センター	4	1	5	3	0	3		
	(財)河川情報センター	-	-	0	0	0	0		
	(社)雪センター 北陸支部	1	-	1	1	0	1		
	(財)道路保全技術センター	-	-	0	0	0	0		
	(財)ダム技術センター	-	-	0	0	0	0		
	(財)ダム水源池環境整備センター	-	-	0	0	0	0		
	(財)リバーフロント整備センター	-	-	0	0	0	0		
	(財)砂防地すべり技術センター	-	-	0	0	0	0		
	(財)日本建設情報総合センター	-	-	0	0	0	0		
	(財)経済調査会 北陸支部	-	-	0	0	0	0		
	(財)国土開発研究センター	-	-	0	0	0	0		
	一般(加入協会不明を含む)	28	18	46	16	8	24		
小計		38	45	83	23	28	51		
学校		-	-	0	0	0	0		
報道		-	-	0	5	0	5		
発表者		16	15	31	16	15	31		
小計		16	15	31	21	15	36		
(官公庁合計)		99	86	185	83	76	159		
(民間合計)		328	311	639	264	213	477		
合計		427	397	824	347	289	636		

3) プログラム

記念講演者プロフィール

農学博士 高橋 剛一郎 (たかはし ごういちろう)
富山県立大学短期大学部助教授



講演内容 『溪流環境の構造と保全』

溪流は、水・土砂・植生が関わりあってダイナミックな生態系を形成しています。これを保全するための基礎的な知見を紹介します。

- 専門分野 ----- 林学、砂防学
現在の研究課題 ----- 自然環境の保全と調和した砂防・治山工法に関する研究
学歴(経歴) ----- 北海道大学農学部卒業
北海道大学大学院農学研究科林学専攻博士課程(前期)
委員 ----- 立山カルデラ砂防博物館運営委員
主な著書 ----- 共著「砂防学概論」(鹿島出版会1991)
編著「溪流生態砂防学」(東京大学出版会1999)

平成14年度 建設技術報告会

主催 北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会
国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、
日本道路公団北陸支社、(社)新潟県建設業協会、(社)富山県建設業協会、
(社)石川県建設業協会、(社)日本土木工業協会北陸支部、
(社)日本道路建設業協会北陸支部、(社)日本建設機械化協会北陸支部、
北陸土木コンクリート製品技術協会、
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部、
北陸PC防雪技術協会、北陸建設リサイクル協会、新潟県融雪技術協会、
(財)新潟県建設技術センター、北陸地質調査業協会、
(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(社)北陸建設弘済会

事務局 北陸地方整備局北陸技術事務所
TEL 025-231-1281
ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

—建設分野の新技术・新工法—

平成14年度 建設技術報告会

プログラム

日時 平成14年10月17日(木) 9:30~17:00
会場 ボルファートとやま 富山市奥田新町81

scedule

- 9:30 ● 開 会 式 (ボルファートホール)
- 9:40 ● 記 念 講 演 (ボルファートホール)
『溪流環境の構造と保全』
農学博士 高橋 剛一郎 (たかはし ごういちろう)
富山県立大学短期大学部助教授
- 10:50 ● 技 術 報 告 (第一会場: 4階 琥珀の間)
(第二会場: 4階 珊瑚の間)
技術報告数: 31技術
☆技術報告のテーマ
① 雪に強い地域づくり
② 良いものを安く
③ 自然災害からの安全確保
④ 環境の保全と創造
⑤ ゆとりと福祉
- 16:50 ● 閉会・総括 (第一会場: 4階 琥珀の間)

Program プログラム

開会式・記念講演 -- ボルファートホール 2F --

9:30 挨拶 北陸地方整備局 企画部長 的場 純一

9:40~10:40 記念講演 「溪流環境の構造と保全」
富山県立大学短期大学部助教授 高橋 剛一郎

<技術報告>

第一会場 -- 琥珀の間 4F --

10:50~12:00

- テマ② NDR工法(水中橋脚耐震補強のための仮締切り工法)
佐々木 広輝 (五洋建設)
- テマ② 吊床版構造を応用したPC曲弦トラス橋の建設
伊藤 公彦 (住友建設)
- テマ② 道路消雪井戸の点検修繕効率化技術の開発
桑原 賢二 (興興和)
- テマ② 性能規定(低騒音)対応舗装の汎用化へのアプローチ
桶谷 達也 (北川ヒューテック)

12:00~13:00 昼 食

13:00~14:10

- テマ② 乳剤散布装置付アスファルトフィニッシュによる高機能舗装
友藤 敬志 (新キャタピラー三菱)
- テマ② 性能規定発注方式における排水性舗装の施工事例
池田 孝司 (前田道路)
- テマ② SSRDマット(舗装補強型防水マット)
加藤 幸夫 (飛鳥道路)
- テマ⑤ 電線共同溝の標準化について
田村 三知行 (新和コンクリート工業)

14:10~14:20 休 憩

14:20~15:30

- テマ① 凍結抑制舗装『ザベック工法タイプG』
上 田 広 (世紀東急工業)
- テマ① 表面処理型機能性舗装 RAペーパ
長 屋 龍三 (大林道路)
- テマ① 冬期間路面管理に即応する舗装-表面排水性舗装「スーパーエスマック」
水 門 征男 (日本舗道)
- テマ③ 雪崩および落石の数値シミュレーションについて
小 村 辰彦 (東京コンサルタンツ)

15:30~15:40 休 憩

15:40~16:50

- テマ③ 地下空間浸水防止施設の開発
内 田 浩 勝 (豊田工業)
- テマ④ 移動式フォームドプラントにより強化路盤を構築するSKP工法
渡 邊 貴子 (鹿島道路)
- テマ④ 環境に配慮した高性能乳剤について
小 林 禎子 (福田道路)
- テマ④ 車道用半たわみ系保水性舗装『クールロード』について
辻 井 豪 (大成ロテック)

16:50 閉 会 北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会委員長
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長) 柳沢 今朝次郎

<技術報告>

第二会場 -- 珊瑚の間 4F--

10:50~11:45

- テマ③ 景観及び自然斜面特性を考慮した新しい斜面安定工法について
女 川 欣 邦 (ダイチ)
- テマ③ 岩盤斜面のくさび崩壊メカニズムと対策工法
中 村 二三雄 (日本工営)
- テマ③ 富山県土砂災害情報システム(SABONA)について
西 出 義 章 (富山県)

11:45~13:00 昼 食

13:00~14:10

- テマ④ 河川改修とイタセンバラの共存
越 田 宗 彦 (富山県ピオトップ研究会)
- テマ④ 底泥置換覆砂工法の開発
上 野 成 三 (大成建設)
- テマ④ 高濃度薄層浚渫装置による湖沼浚渫について
吉 井 智 彦 (㈱本間組)
- テマ④ 自然循環方式水処理システム
鈴 木 輝 彦 (鉄建建設)

14:10~14:20 休 憩

14:20~15:30

- テマ④ 新しい廃棄物最終処分場システムの紹介
喜 多 利 明 (㈱大林組)
- テマ④ 自走式土質改良機による建設発生土の現場内利用
小 泉 敏 之 (コマツ)
- テマ④ 地下水流動阻害対策としての両面型壁内井戸工法
高 坂 信 章 (清水建設)
- テマ⑤ 交通振動低減のため防振ゴムを敷設する工法「MBM工法」
朝 倉 浩 史 (真柄建設)

15:30~15:40 休 憩

15:40~16:50

- テマ① アフタークーラ付きポータブルエアコンプレッサ PDS-Cタイプ
高 橋 正 樹 (北越工業)
- テマ① 新潟大堰戸当り修繕工事の施工実績について
藤 村 陽 介 (鹿島建設)
- テマ② 棧橋のプレキャスト施工技術
河 辺 知 之 (佐伯建設工業)
- テマ② 小倉ダムに於けるコア・フィルタ転圧管理システムについて
池 内 潤 (㈱フジタ)

技術報告テーマ

- ① 雪に強い地域づくり ② 良いものを安く ③ 自然災害からの安全確保 ④ 環境の保全と創造 ⑤ ゆとりと福祉

3. 準備及び運営

1) 実行委員会名簿

役員	所属	役職	氏名
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	柳沢 今朝次郎
委員	北陸地方整備局 企画部	技術管理課長補佐	山之内 哲也
委員・ 会計監査	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	高山 渉
委員	富山県 土木部 企画用地課	技術管理係長	酒徳 鋼一
委員	石川県 土木部 技術管理課	課長補佐	金谷 信治
委員	日本道路公団北陸支社 建設部 工務課	課長代理	中沢 寿幸
委員	(社)新潟県建設業協会	技術部長 契約制度室長	圓山 文史朗
委員	(社)富山県建設業協会	参事	木田 昭司
委員	(社)石川県建設業協会	常務理事	金谷 進
委員	(社)日本土木工業協会北陸支部	技術委員長	野間 一三
委員	(社)日本道路建設業協会北陸支部	幹事長	喜綿 洋二
委員	(社)日本建設機械化協会北陸支部	総務委員	内山 和夫
委員	北陸土木コンクリート製品技術協会	専務理事	柴田 勝太
委員	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部	事務局長	滝沢 俊次
委員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	村田 佳久
委員	北陸建設リサイクル協会	業務安全委員長	舟田 敏
委員	新潟県融雪技術協会	技術委員長	小松崎 通雄
委員	(財)新潟県建設技術センター	参事	吉田 敦
委員	北陸地質調査業協会	事務局長	島田 勝英
委員	(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	広報委員長	五十嵐 英輝
委員	(社)北陸建設弘済会	理事・事業調査室長	内山 宏文

2) 主な経緯

会議名	日程	場所	内容
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	H14年 3月 5日(火)	万代荘	「平成14年度建設技術報告会」をH14年10月17日に実施決定。
第一回実行委員会	H14年 4月16日(火)	万代荘	実施計画(案)の承認 予算(案)の承認 報文募集開始
第二回実行委員会	H14年 7月 3日(水)	万代荘	報告技術の選定について承認 報告会運営計画について承認 広報計画について承認
「平成14年度建設技術報告会」開催	H14年10月17日(木)	ゴルフアートとやま	
第三回実行委員会	H15年 2月12日(水)	万代荘	実施状況報告 会計決算報告 会計監査報告

3) 当日の運営体制

スタッフの役割	業務内容	国土 交通省	富山県	富山県 建協	土工協	道建協	機械協
受付	聴講者及び発表者の受付を行う。		4	2	2	2	2
発表会司会	進行シナリオ等に基づき、発表の進行を行う。	2			1	1	
時間管理係	発表時間の管理を行う。		(2)				
パソコン係	発表時の使用器材の管理及びトラブル対応等		(2)				
マイク受渡し係	質疑応答時、質問者へマイクの受渡しを行う。	(1)		(1)		(1)	(1)
会場照明係	会場照度の調整及び質問者へのマイク受渡し。	1		(1)			(1)
開会式・記念講演司会	司会進行を行う。	1					
VIP案内 マスコミ対応	講演者等を控室へ案内する。 マスコミ対応は適宜対応する。	1					
連絡調整係	受付・会場等の連絡調整	3					
接遇係	控室で講演者等の接遇	1					
写真係	開催状況等の写真撮影。	1			(1)		
閉会式司会	司会進行を行う。	(1)					
	計	10	4	2	3	3	2
	合計	24					

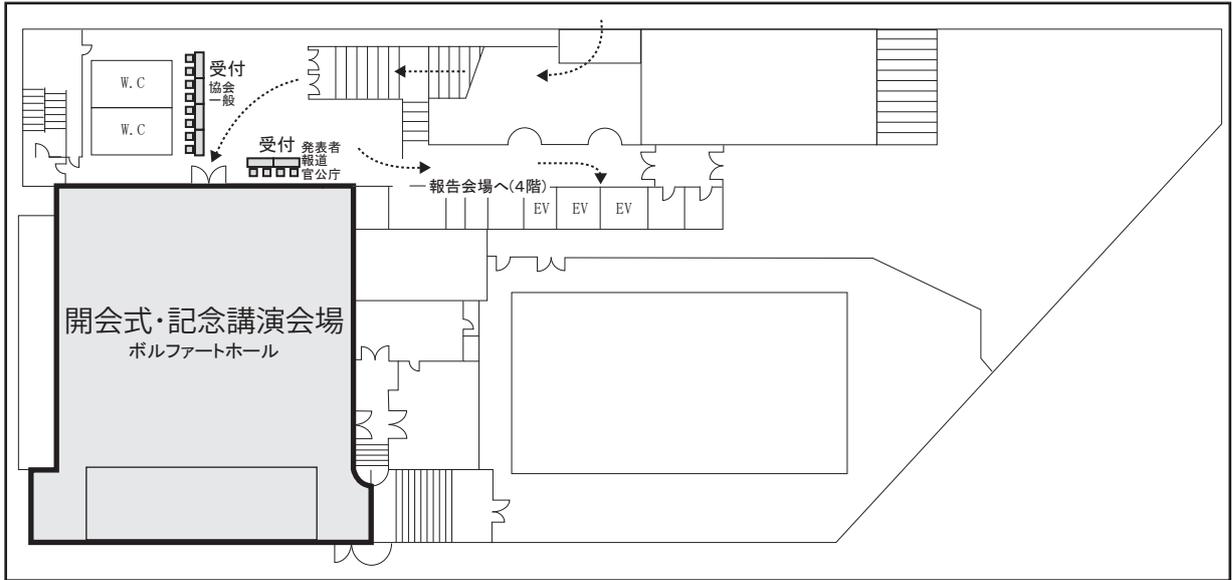
注1) ()は他の役割と重複
2) 上記数値は途中交代した員数を含む。

4) 運営スケジュール

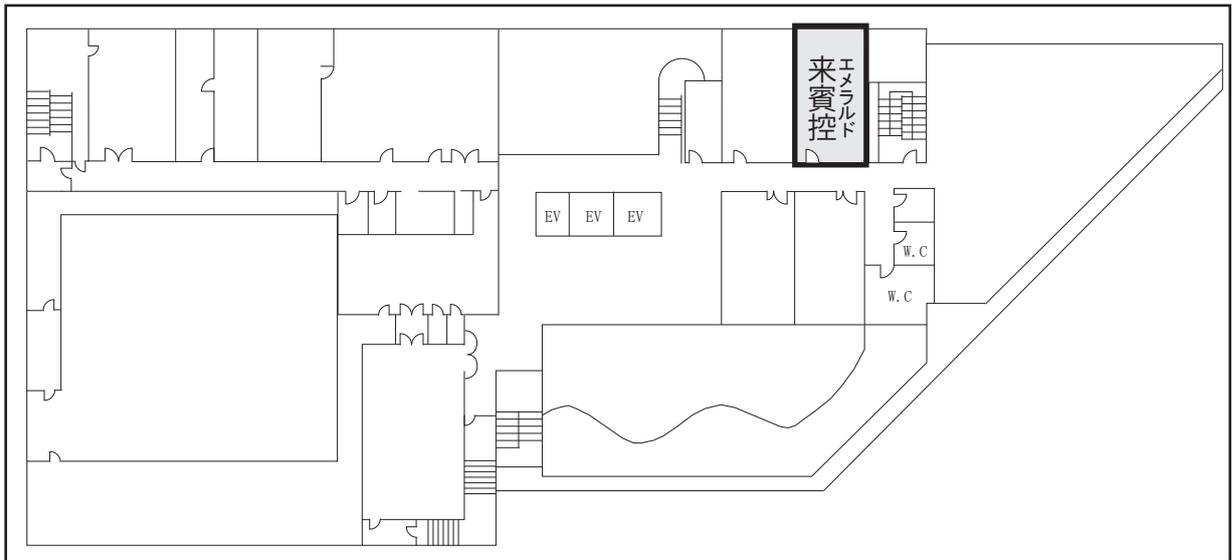
事項	月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
実行委員会開催 《委員会・事務局》		○ 3/5 推進協運営委員会	① 4/16			② 7/3							③ 2/12
報文募集・申込み(概要版原稿) 《各機関毎》			4/17	●————● 6/10									
発表課題選定 《委員会・事務局》						● 7/3							
採否通知送付 《事務局》						7/10 ●							
報文集	本原稿提出 《発表者》					7/10 ●	●————● 9/10						
	編集 《事務局》							● 9/12					
	校正・印刷 《事務局》							9/12 ●	●————● 9/30				
プレゼンテーション	データ(PP)提出 《発表者》					7/10 ●	●————● 9/20						
	データ(PP)作動確認 《事務局》							9/9 ●	●————● 10/4				
ポスター	図案作成・承認 《事務局・委員会》			●————● 図案作成		● 7/3							
	校正・印刷 《事務局》					7/3 ●	●————● 8/19						
プログラム	原稿作成・印刷 《事務局》						8/5 ●	●————● 9/26					
運営スタッフ	名簿提出 《各機関毎》					7/3 ●	●————● 8/30						
	各係作業内容作成・発送 《事務局》						8/19 ●	●————● 10/3					
聴講者募集 《各機関毎》							9/2 ●	●————● 9/30					
ホームページ原稿作成・公開 《事務局》							● 8/27	●————● 公開		●————● 10/17			
広報投込み・掲載	「北陸の建設技術」掲載 《事務局》							● 9/10					
	記者クラブ・業界紙 《事務局》							● 9/19					
記念講演	講師選定 《事務局・委員会》		4/17 ●	●————● 日程確認・依頼		● 7/3							
	報文原稿・講演資料作成 《講師》					7/10 ●	●————● 報文原稿作成		8/23 ●	●————● 講演用資料作成		10/15 ●	
「建設技術報告会」開催									◎ 10/17				
実施状況とりまとめ・次回開催検討									10/18 ●	●————●		1/20 ●	
主な決定事項等 (実行委員会)							・実施計画(案)の承認 ・予算(案)の承認 ・募集要領(案)の承認						・報告技術の承認 ・ポスター(案)の承認
													・決算(案)の承認 ・実施状況報告

5) 会場レイアウト

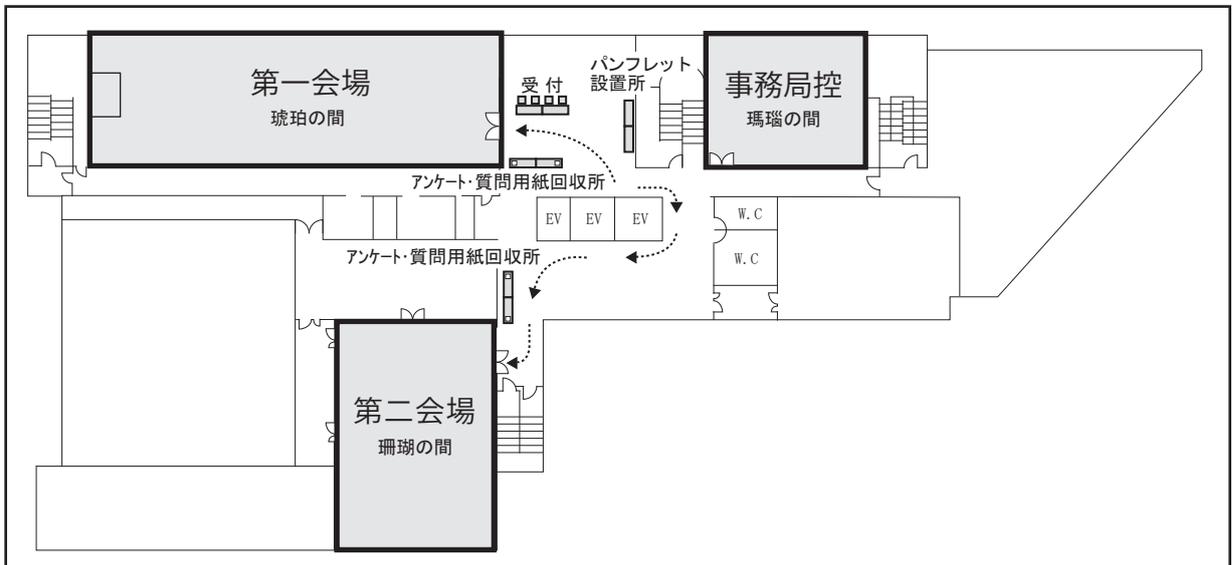
●会場二階平面図



●会場三階平面図

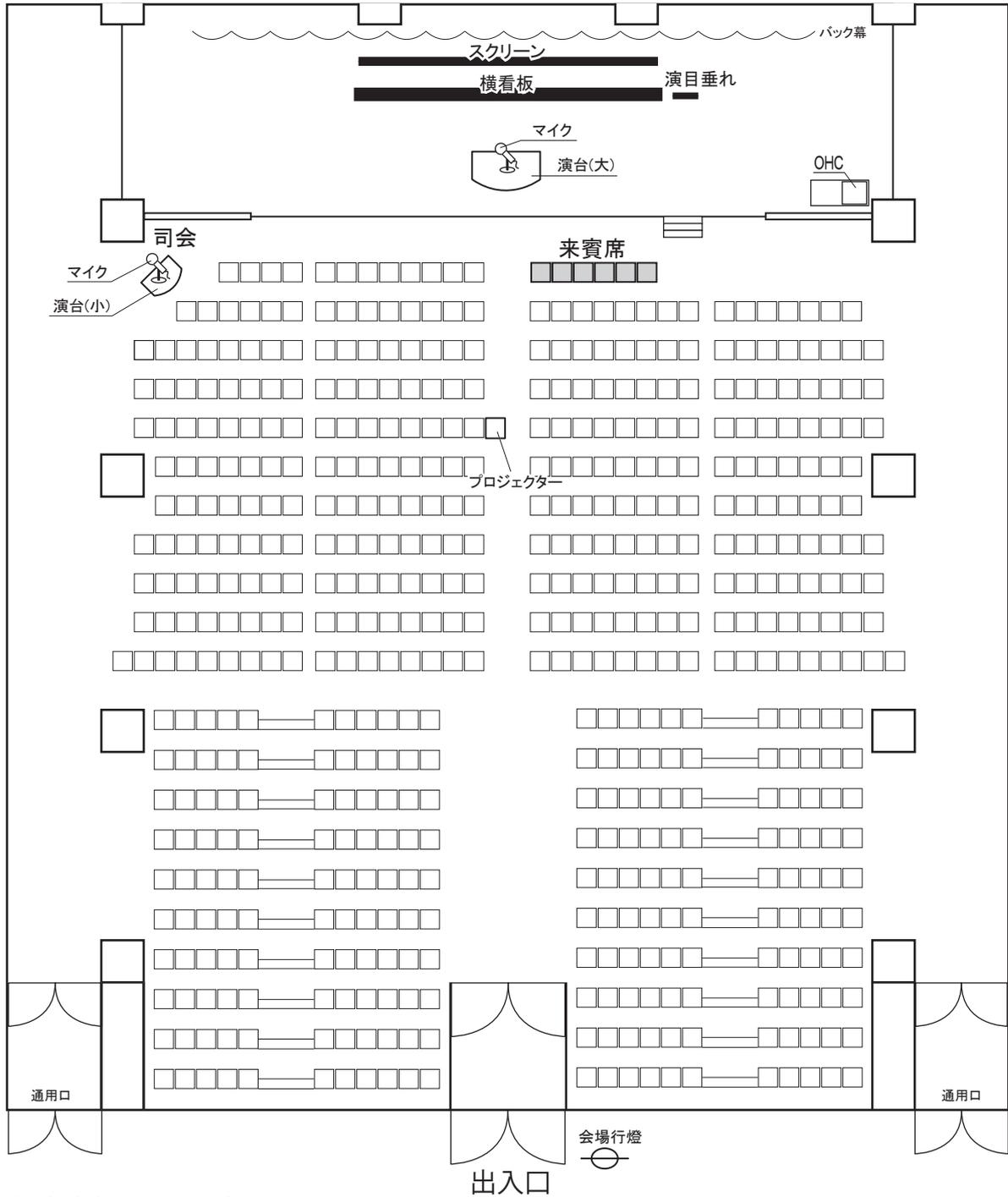


●会場四階平面図



●開会・記念講演(ゴルフアートホール)平面図

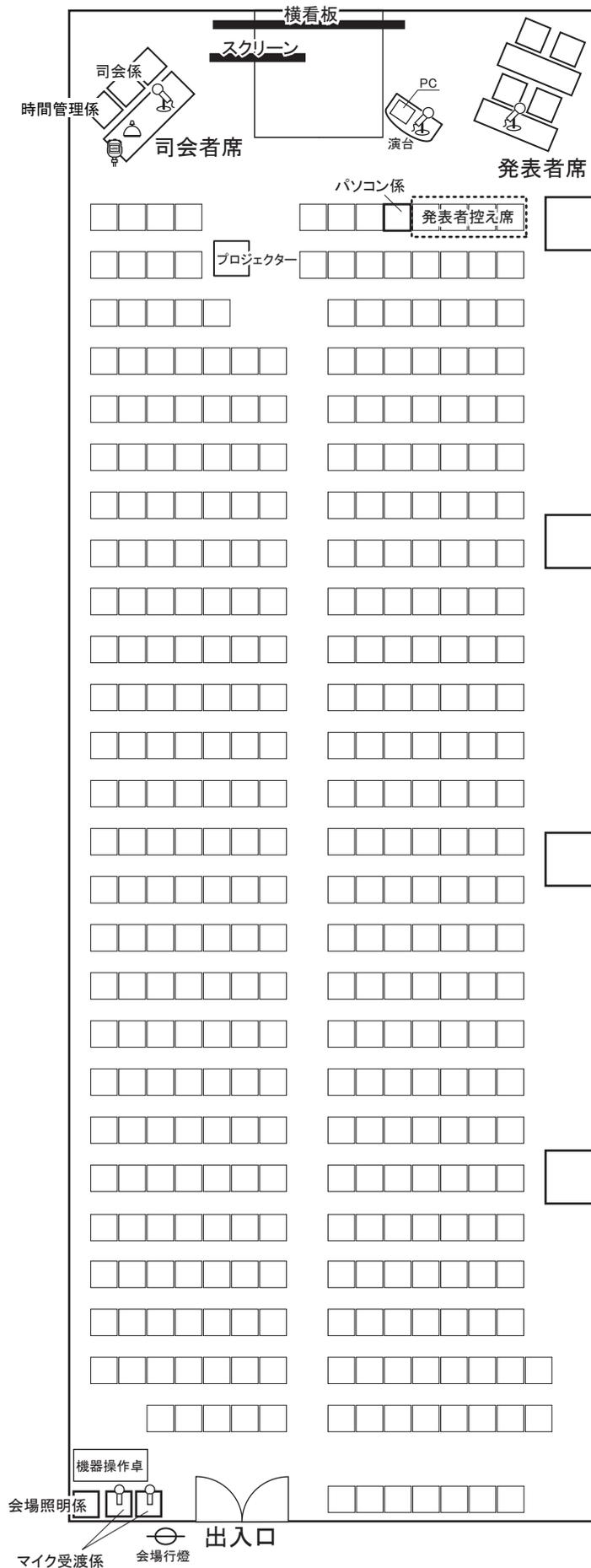
開会時(9:30~9:40)



総座席数・・・553席
 ・聴講者席・・・547席
 ・来賓者席・・・6席

●第一会場(琥珀の間)平面図

報告会時(9:50~16:50)



総座席数・・・375席

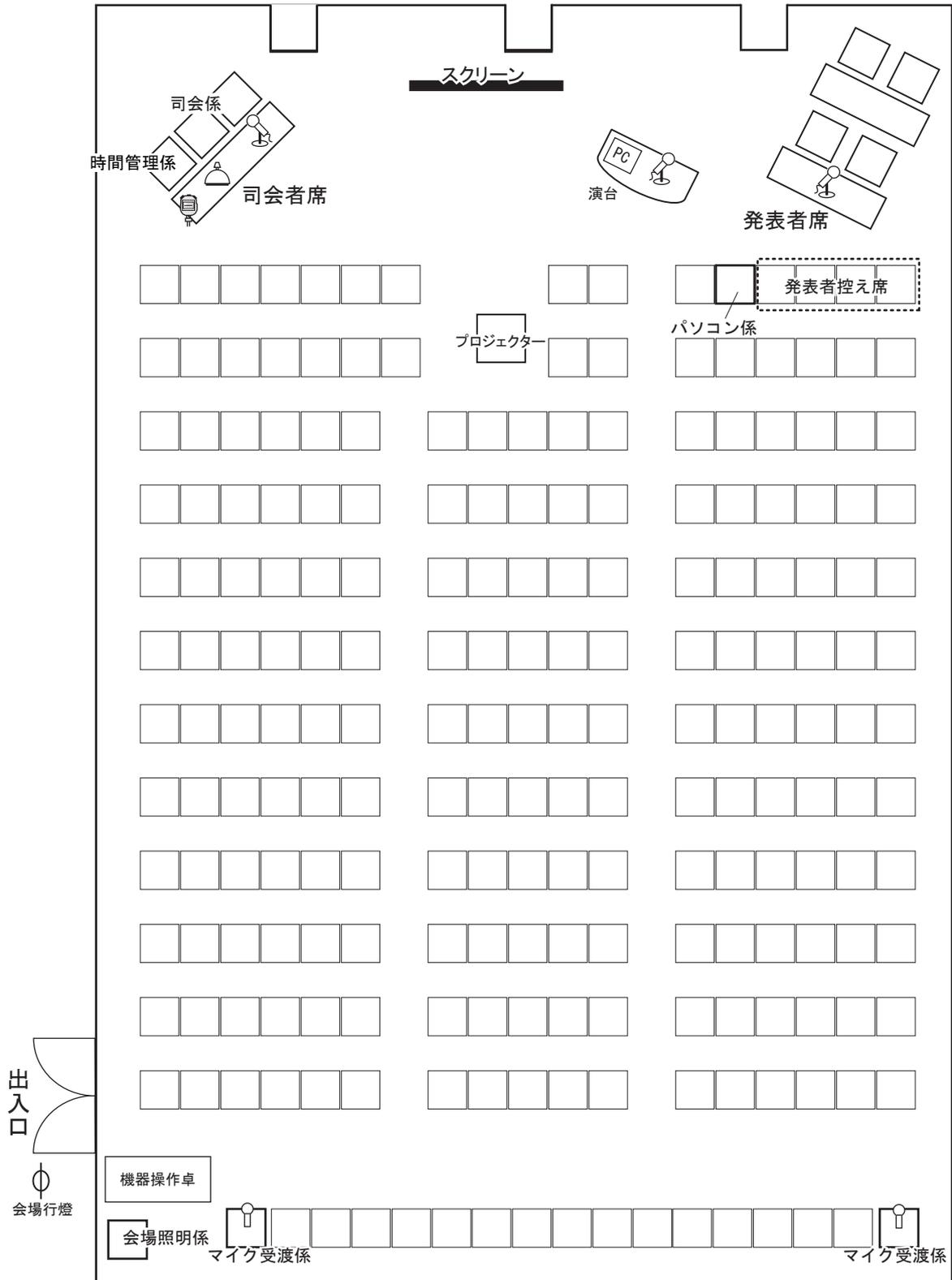
- ・聴講者席・・・360席
- ・発表者席・・・4席
- ・発表者控え席・・・4席
- ・運営スタッフ席・・・7席

(司会係・・・2席
時間管理係・・・1席
パソコン係・・・1席
マイク受渡係・・・2席
会場照明係・・・1席)

- 🎤 : 有線マイク(3)
- 🔔 : 呼び鈴(1)
- 🕒 : ストップウォッチ(1)
- 📻 : ワイヤレスマイク(2)

●第二会場(珊瑚の間)平面図

報告会(9:50~16:50)



総座席数・・・225席

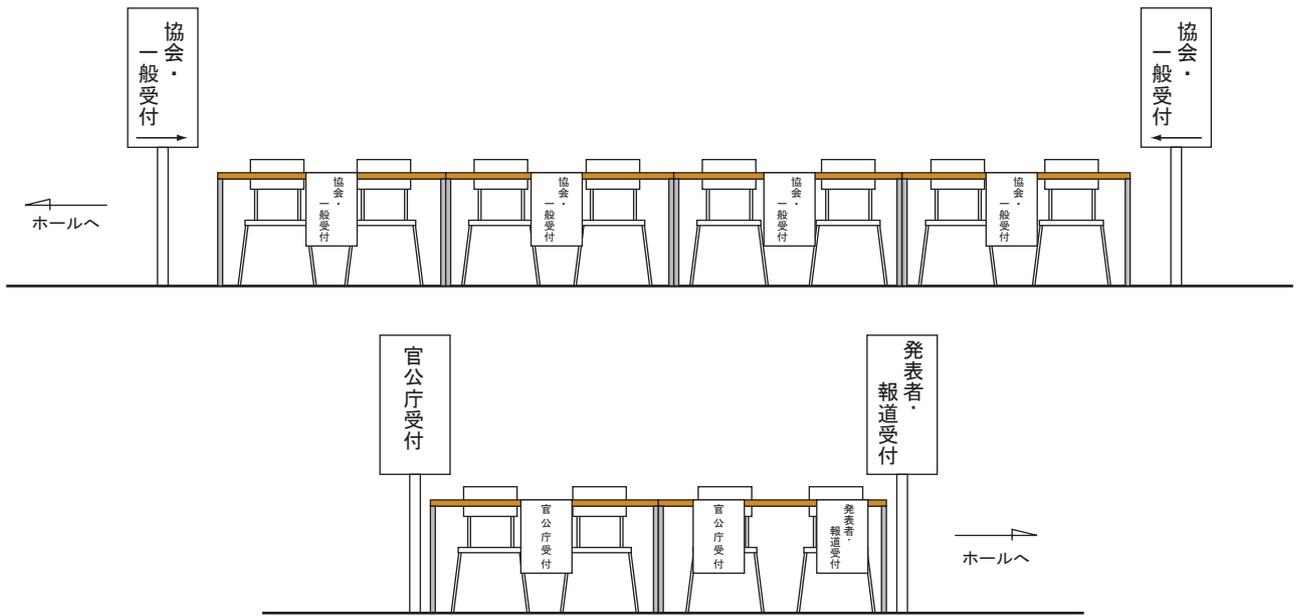
- ・聴講者席・・・210席
- ・発表者席・・・4席
- ・発表者控え席・・・4席
- ・運営スタッフ席・・・7席

(司会係・・・2席
 時間管理係・・・1席
 パソコン係・・・1席
 マイク受渡係・・・2席
 会場照明係・・・1席)

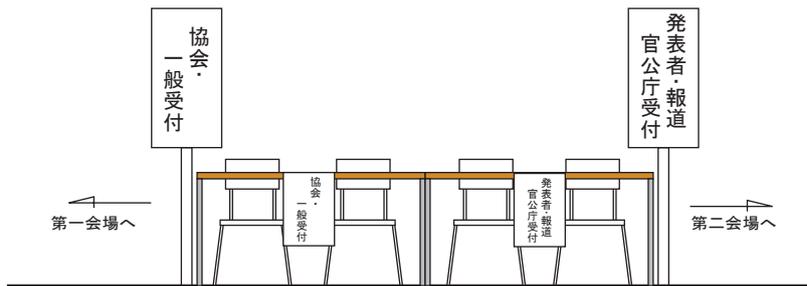
- 🎤 : 有線マイク(3)
- 🔔 : 呼び鈴(1)
- 🕒 : ストップウォッチ(1)
- 🎧 : ワイヤレスマイク(2)

●受付配置図

◇二階ロビー(9:00~10:30)



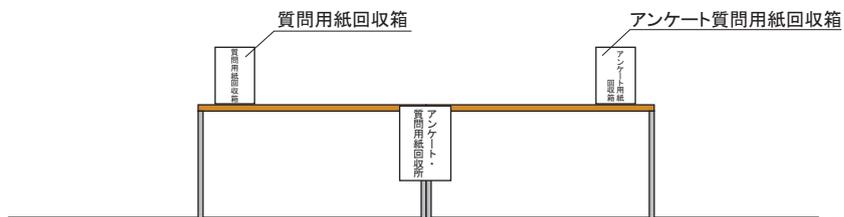
◇四階ロビー(10:30~17:00)



※テーブルにクロス有り

●アンケート・質問用紙回収所

◇第一会場・第二会場出入口脇(各1箇所)



※テーブルにクロス無し

●パンフレット設置所

◇四階受付脇(1箇所)



※テーブルにクロス無し

4. 広報

1) 広報実施内容

手	法	依頼時期	広報実績	備考
1	ポスター	2,450部	8/21(火)発送	関係機関 縦=593mm、横=420mm (A2版)
2	月刊誌等	ほっと*ほくりく 実業之富山 北技情報 北陸の建設技術 北陸だより		8月号掲載 9月号掲載 9月号掲載 9月号掲載 No.18号掲載
3	記者クラブ投込み	新潟・富山・石川・ 福井・長野・福島・ 山形・岐阜	9/19(木)	
4	業界紙投込み	日刊建設通信新聞社 日刊建設工新聞社 中部建設新聞社 富山県市町村新聞 日刊工業新聞 日本工業経済新聞社 建設ジャーナル 実業建設新報社 日刊建設産業新聞社 北陸工業新聞社	9/19(木) " " " " " " " " " "	9/4号掲載 10/18号掲載 10/18号掲載 10/18号掲載 10/18号掲載
5	ホームページ	北陸技術事務所		9/25~10/11

2) 機関誌・新聞記事等

○月刊誌

北陸地方建設事業推進協議会
「北陸の建設技術 9月号」

北陸技術事務所
「北技情報 9月号」

お知らせ
INFORMATION

～建設分野の新技术・新工法～
平成14年度「建設技術報告会」開催のお知らせ

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社等において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催します。

報告会は、富山短期大学の高橋剛一部助教授による記念講演と優れた建設技術を直接開発担当者から、開発背景、施工事例、効果等を聞くことができる貴重な機会です。

懇話申し込みの上、多数ご参加ください。

●開催日時 平成14年10月17日(木)
9:30 開会
9:40 記念講演
10:50 技術報告会
16:50 閉会

●開催場所 ポルファートとやま (富山県富山市奥田新田81)

●記念講演 「河床環境の構造と保全」
富山県立大学短期大学部助教授 高橋 剛一部

●技術報告 5つの技術報告テーマに沿って、下記31課題の発表を予定しています。

第一会場	第二会場
① NDR工法 (水中掘削掘削機を用いたのり床掘削工法)	②1 新築及び自然耐震性能を向上させた新しい耐震構造工法について
② 特殊基礎を応用した大径杭トラス橋の建設	③ 新築基礎「コアレス」工法の普及
③ 道路中層の改良修繕等「北陸圏」の発展	④ 富山県立河川技術センター「アゴロ」について
④ 自然環境・環境負荷低減の省エネアプローチ	⑤ 河川環境「エコ・リバー」の発展
⑤ 先端教育技術付アスファルトフィニッシュによる高機能舗装	⑥ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑥ 自然環境保全における省エネアプローチ	⑦ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑦ SSKP工法 (橋脚補修技術)	⑧ 自然環境保全型高機能舗装システム
⑧ 高機能舗装の普及について	⑨ 新築・修繕等における省エネアプローチ
⑨ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑩ 新築・修繕等における省エネアプローチ
⑩ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑪ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑪ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑫ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑫ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑬ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑬ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑭ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑭ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑮ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑮ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑯ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑯ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑰ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑰ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉑ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉑ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉒ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉒ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉓ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉓ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉔ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉔ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉕ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉕ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉖ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉖ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉗ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉗ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉘ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉘ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉙ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉙ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉚ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉚ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉛ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉛ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉜ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉜ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉝ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉝ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉞ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉞ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉟ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉟ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊴ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊴ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊵ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊵ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊶ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊶ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊷ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊷ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊸ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊸ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊹ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊹ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊺ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展

●懇話申し込み先 (懇話無料)
平成14年9月30日までに、実行委員会各構成機関又は事務局に申し込みください。
「建設技術報告会」実行委員会事務局
(北陸地方整備局 北陸技術事務所) TEL:025(231)1281 FAX:025(231)1282
ホームページアドレス [http://www.hrr.milt.go.jp/hokugi/](http://www.hrr.milt.go.jp/hokug/)

INFORMATION
お知らせ

「建設技術報告会」開催
～建設分野の新技术・新工法～

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社等において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催します。

報告会は、富山短期大学の高橋剛一部助教授による記念講演と優れた建設技術を直接開発担当者から、開発背景、施工事例、効果等を聞くことができる貴重な機会です。

懇話申し込みの上、多数ご参加ください。懇話は無料です。

●開催日時 平成14年10月17日(木)
9:30~17:00

●開催場所 ポルファートとやま (富山県富山市奥田新田81)

●記念講演 「河床環境の構造と保全」
(9:40~10:40) 富山県立大学短期大学部助教授 高橋 剛一部

●技術報告 (10:50~16:40)

第一会場	第二会場
① NDR工法 (水中掘削掘削機を用いたのり床掘削工法)	②1 新築及び自然耐震性能を向上させた新しい耐震構造工法について
② 特殊基礎を応用した大径杭トラス橋の建設	③ 新築基礎「コアレス」工法の普及
③ 道路中層の改良修繕等「北陸圏」の発展	④ 富山県立河川技術センター「アゴロ」について
④ 自然環境・環境負荷低減の省エネアプローチ	⑤ 河川環境「エコ・リバー」の発展
⑤ 先端教育技術付アスファルトフィニッシュによる高機能舗装	⑥ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑥ 自然環境保全における省エネアプローチ	⑦ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑦ SSKP工法 (橋脚補修技術)	⑧ 自然環境保全型高機能舗装システム
⑧ 高機能舗装の普及について	⑨ 新築・修繕等における省エネアプローチ
⑨ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑩ 新築・修繕等における省エネアプローチ
⑩ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑪ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑪ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑫ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑫ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑬ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑬ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑭ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑭ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑮ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑮ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑯ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑯ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑰ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑰ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	⑳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
⑳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉑ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉑ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉒ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉒ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉓ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉓ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉔ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉔ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉕ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉕ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉖ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉖ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉗ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉗ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉘ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉘ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉙ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉙ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉚ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉚ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉛ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉛ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉜ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉜ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉝ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉝ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉞ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉞ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㉟ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㉟ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊱ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊲ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊳ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊴ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊴ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊵ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊵ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊶ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊶ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊷ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊷ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊸ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊸ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊹ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展
㊹ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展	㊺ 高機能舗装「エコ・リバー」の発展

●懇話申し込み
懇話を希望される方は平成14年9月30日(月)までに、事務局に申し込みください。
「建設技術報告会」実行委員会事務局 (北陸地方整備局 北陸技術事務所) TEL:025(231)1281 FAX:025(231)1282
詳細は北陸技術事務所のホームページをご覧ください。ホームページアドレス <http://www.hrr.milt.go.jp/hokugi/>

情報コープ

建設技術報告会の開催について (予告)

北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会が主催する平成14年度建設技術報告会が10月17日富山市内ボルファートとやまで開催することになった。運営の一部をお手伝いします。

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催するものです。

この報告会は平成7年度から開催され、今年で第7回目となります。

道建協北陸支部会員から8編、北陸建設リサイクル協会から1編の技術論文が発表されることとなった。福田道路㈱小林慎子さん、鹿島道路㈱渡辺貴子さんの2人の女性技術者が発表するものも今回の特徴です。多数のご参加をお願いいたします。

北陸だより 第18号

情報コープ

建設技術報告会 ◆初の女性技術者登場

平成14年度「建設技術報告会」が北陸地方建設事業推進協議会の主催により10月17日、富山市の運河公園に近いボルファート富山で開催された。

この報告会は、毎年実施されるもので「北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁および民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事」を目的としている。

記念講演は「渓流環境の構造と保全」と題して、淡路のダイナミックな生態系や、これを保全するための基礎的な技術について、富山県立大学短期

大学部助教授の高橋剛一郎博士が講演された。続いて博文発表は2会場に分かれ31技術が報告された。テーマは①雪に強い地域づくり②良い物を安く③自然災害からの安全確保④環境の保全と創造⑤ゆとりと福祉についての5テーマであった。

道建協会員からは下表に示すように、騒音等を規定した性能規定発注方式の工事報告や省資源、環境対策に係る技術のほか、北陸の冬期路面対策として凍結抑制舗装技術も3件報告された。

また本報告会では、始めて2名の女性技術者による発表が行われた。会場には、600名以上の参加があり活発な質疑応答が行われ、新技術・新工法にたいし積極的に取り組んでいる熱意が感じられた。(中村勝司・福田道路㈱記)

発表題名	発表者
性能規定(低騒音)対応舗装の汎用化へのアプローチ	北川ヒューテック㈱ 極谷達也
性能規定発注方式における排水性舗装の施工事例	前田道路㈱ 池田孝司
SSRDマット(舗装補強型防水マット)	飛鳥道路㈱ 加藤幸夫
凍結抑制舗装「ザベック工法タイプG」	世紀東急工業㈱ 上田 広
表面処理型機能性舗装 RAベープ	大林道路㈱ 長屋龍三
～冬期路面管理に即応する舗装～ 表面排水性舗装「スーパーエスマック」	日本舗造㈱ 水門征男
移動式フォームドプラントにより強化路盤を構築するSKP工法	鹿島道路㈱ 渡邊貴子
環境に配慮した高性能乳剤について	福田道路㈱ 小林慎子
車道用半たわみ系排水性舗装「クールロード」について	大成ロテック㈱ 辻井 豪

北陸だより 第19号

～建設分野の新技術・新工法～
「建設技術報告会」開催

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁および民間の建設会社などにおいて、新たに研究開発された新技術、新工法などを報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催します。

報告会は、富山短期大学の高橋剛一助教授による記念講演と31題の新技術報告(雪に強い地域づくり、良いものを安く、自然災害からの安全確保、環境の保全と創造、ゆとりと福祉)を予定していますので、聴講申し込みの上、ご参加ください。

- 開催日時/平成14年10月17日(木)
- 開催場所/ボルファートとやま(富山県富山市奥田新田81)
- 聴講申し込み先/平成14年9月30日(月)までに下記に申し込みください。
「建設技術報告会」実行委員会事務局
(北陸地方整備局北陸技術事務所)
TEL(025)231-1281 FAX(025)231-1282
ホームページアドレス
<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

北陸地方建設事業推進協議会 建設技術報告会	10/17(木)	ボルファートとやま	国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所 025-231-1281
記念講演「渓流環境の構造と保全」富山県立大短期大学部助教授 高橋剛一郎/技術報告 テーマ「雪に強い地域づくり」「良いものを安く」「自然災害からの安全と創造」「ゆとりと福祉」 AM9:30			

○ 投 込 資 料

建設分野の新技术・新工法 「建設技術報告会」

● **概要**
北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社等において、新たに研究開発された新技术、新工法等を報告することにより活用及び普及を図ることを目的に開催します。
本報告会は、平成7年度から毎年開催されており、第7回目となる今年度は北陸地方において活用及び普及を目指して応募のあった31の新技术について報告が行われます。

● **開催日時及び内容**
平成14年10月17日(木)
9:30 開会挨拶
 国土交通省 北陸地方整備局 企画部長 的場 純一
9:40 記念講演 「溪流環境の構造と保全」
 富山県立大学短期大学部助教授 高橋 剛一郎
10:50 技術報告会(次のテーマの中から31課題を報告)
 ① 雪に強い地域づくり ② 良いものを安く
 ③ 自然災害からの安全確保 ④ 環境の保全と創造
 ⑤ ゆとりと福祉
16:50 閉会挨拶
 北陸地方建設事業推進協議会
 「建設技術報告会」実行委員会 委員長 柳沢 今朝次郎

● **開催場所**
ポルファートとやま (富山県富山市奥田新田81)

● **主催**
北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会
国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、日本道路公団北陸支社、(社)新潟県建設業協会、(社)富山県建設業協会、(社)石川県建設業協会、(社)日本土木工業協会北陸支部、(社)日本道路建設業協会北陸支部、(社)日本建設機械化協会北陸支部、北陸土木コンクリート製法技術協会、(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部、北陸PC防音技術協会、北陸建設リサイクル協会、新潟県融雪技術協会、(株)新潟県建設技術センター、北陸地質調査業協会、(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(社)北陸建設弘済会

● **聴講申し込み先(聴講無料)**
平成14年9月30日(月)までに、実行委員会各構成機関又は事務局に申し込みください。
「建設技術報告会」実行委員会事務局
(北陸地方整備局 北陸技術事務所)
TEL025(231)1281 FAX025(231)1282
ホ-ム-ジ-ャ-ド http://www.hrr.mit.go.jp/hokugi/

お知らせ

平成14年9月19日
本資料の発表をもって解禁とする

北陸地方整備局
北陸技術事務所
資 料 配 付

北陸の地域ニーズに応える「建設技術報告会」の開催について
(官民で研究開発された新技术・新工法)

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社等において、新たに研究開発された新技术新工法等を報告することにより活用及び普及を図ることを目的に開催します。
本報告会は、平成7年度から毎年開催されており、第7回目となる今年度は、北陸地方において活用及び普及を目指して応募のあった31の新技术について報告が行われます。

(問い合わせ先)
建設技術報告会 実行委員会 事務局
北陸技術事務所
TEL 0254-231-1281
副所長 穂苅 正昭
建設専門官 石田 一義

環境分野への挑戦目立つ

北陸地方建設事業推進協議会 富山で建設技術報告会

北陸地方建設事業推進協議会(会長・鬼頭平三北陸地方整備局長)の主催による「建設技術報告会」が17日、富山市で開かれた。コスト削減や環境など建設界が直面する諸課題について、最新の研究成果が披露された。電線共同溝の標準化や性能規定発注による排水性舗装の事例など、公共事業の効率的な執行にかか

る研究事例も紹介され、注目を集めた。同協議会は、北陸地方整備局、日本道路公団北陸支社、北陸3県、日本土木工業協会北陸支部、日本道路建設業協会北陸支部、新潟県建設業協会など官民の関係機関で構成。報告会には北陸3県下から関係者多数が参加した。

冒頭、主催者を代表して北陸地方整備局の的場純一企画部長があいさつ。「コスト削減などとともに、環境やバリアフリー、公共施設の長寿命化対策など諸課題がある。従来の方式ではダメだ。今回の新技術などの提案をヒントに取り組んでほしい」と述べた。

研究発表に先立ち、基調講演が行われた。講師は、立山カルデラ砂防博物館運営委員などを務める富山県立大学の高橋剛一助教授で、テーマは「深流環境の構造と保全」。高橋氏は、水や土砂、植生がかかわり合ってダイナミックな生態系を構成する深流の保全へ向けた取り組みなどを紹介した。

技術報告は二つの分科会で行われた。今回の募集テーマは、▽雪に強い地域づくり▽良いものを安く▽自然災害からの安全の確保▽環境保全と創造▽ゆとりと福祉の5点。建設産業界を中心に延べ31題の研究報告が寄せられた。

建設リサイクル法の本格施行などを反映し、新しい廃棄物処分場システム(大林組)や自然循環式水処理システム(鉄建)、豊観・自然斜面特性を考慮した新しい斜面安定工法(ダイチ)、環境に配慮した高性能乳剤(福田道路)など、環境負荷の軽減に着目した発表が目立った。

「02年度建設技術報告会」を開き、31社が新技術や新工法について紹介した。

北陸整備局ら

最新技術31件を報告

社会発展へ普及促進図る

北陸地方整備局北陸技術事務所は17日、富山市のボルファートとやまで「02年度建設技術報告会」を開き、31社が新技術や新工法について紹介した。



新工法の説明や記念講演などを行った建設技術報告会=17日、富山

で、社会発展に貢献して欲しい」とあいさつ。引次は、環境への配慮や公共施設の構造改良など様々な課題がある。この報告会で従来にはない技術を学び解決策を見出すこと

「02年度建設技術報告会」を開き、31社が新技術や新工法について紹介した。

「02年度建設技術報告会」を開き、31社が新技術や新工法について紹介した。

「02年度建設技術報告会」を開き、31社が新技術や新工法について紹介した。

北陸技術事務所(開催案内)

平成14年度 北陸地方建設事業推進協議会 建設技術報告会 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール サイズ 印刷 編集

アドレス(🔍) O:\WINNT\Profiles\kcomata#\デスクトップ\平成14年度 北陸地方建設事業推進協議会 建設技術報告会.htm

リンク Hotmailの無料サービス Internet Explorer ニュース Windows インターネットの開始 チャンネル ガイド ベスト Web リンクのカスタマイズ リンクの変更

平成14年度 建設技術報告会
建設分野の新技术・新工法

>> トップページ >> プログラム >> 記念講演 >> 技術報告【第1会場】 >> 技術報告【第2会場】 >> 主催

聴講募集中 北陸地方において活用・普及が期待される新技术に関する最新の施工例等の情報を行政及び民間の技術者等に広く紹介することにより、新技术の活用・普及促進を図ることを目的に開催されます。

開催日/平成14年10月17日(木)
時間/9:30~17:00
会場/ポルファートとやま 富山市奥田新田8-1 → [会場周辺マップを表示](#)

技術報告タイトル一覧

第一会場	第二会場
NDR工法(水中橋脚耐震補強のための仮締切工法)	景観及び自然斜面特性を考慮した新しい斜面安定工法について
吊床版構造を応用したPC曲弦トラス橋の建設	岩盤崩壊メカニズムと対策工法の選定
道路消雪井戸の点検修繕効率化技術の開発	富山県土砂災害情報システム(サボーナ)について
性能規定(低騒音)対応舗装の汎用化へのアプローチ	河川改修とイタセンバラの共存
乳剤散布装置付アスファルトフィニッシュによる高性能舗装	底泥置換覆砂工法の開発
性能規定発注方式における排水性舗装の施工事例	高濃度薄層塗薬装置による濁り対策について
SSRDマッド(舗装補強型防水マット)	自然循環方式水処理システム
電線共同溝の標準化について	新しい廃棄物最終処分場システムの紹介
凍結抑制舗装『ザベック工法タイプG』	自走式土質改良機による建設発生土の現場内利用
表面処理型機能性舗装「RAペーブ」	地下水流動阻害対策としての両面型壁内井戸工法
表面排水性舗装「スーパーエスマック」	交通揺動低減のため防振ゴムを敷設する工法「MBM工法」
雪崩及び落石の数値シミュレーションについて	アフタークーラ付きボータブルエアコンプレッサ、PDS-C type
地下空間浸水防止用防水扉の開発	新潟大堰戸当り修繕工事の施工実績について
移動式フォームドプラントにより強化路盤を構築するSKP工法	橋橋のプレキャスト施工技術
環境に配慮した高性能乳剤について	小倉ダムに於けるコア・フィルタ軽圧管理システムについて
車道用半たわみ系保水性舗装「クールロード」について	

聴講

- 聴講は無料ですが、申込みが必要となります。
下記聴講申込み先にファックスで、住所、氏名、年齢、職業、希望会場の別(第一会場・第二会場)を記入の上、お申し込みください。
- 募集期間
平成14年9月2日(月)~9月30日(月)
※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。(定員450名)
- 問い合わせ・聴講申込み先
〒950-1101 新潟市山田2310-5
国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内
北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会事務局
TEL: 025-231-1281
FAX: 025-231-1282

インターネット

北陸技術事務所(開催報告)

お知らせ & 意見交換 - Microsoft Internet Explorer

アドレス http://www.ktr.mlit.go.jp/hokugai/news/c02_event.html

お知らせ & 意見交換

平成14年度北陸地方建設事業推進協議会 「建設技術報告会」開催

～地域の発展へ普及・促進を図る、31技術の報告～

去る平成14年10月17日(木)に富山市のポルファートとやまに於いて建設技術報告会が開催されました。

本報告会は、北陸地方建設事業推進協議会を母体とする官民20機関からなる実行委員会が主催し、平成7年の第一回開催からほぼ毎年開催され、今回で第7回目の開催となりました。

開催当日には、北陸地方だけでなく全国から官民の建設技術者830名の聴講があり、立ち見も出るほど盛況でした。



開会挨拶
北陸地方整備局企画部長 的場 純一



聴講状況



記念講演
富山県立短期大学部助教授 高橋 剛一郎 氏

記念講演では、「河川環境の構造と保全」と題し、富山県立短期大学部助教授高橋剛一郎先生による、自然環境における生態系とそれを保全するための手法などが紹介され、これからの北陸地域づくりに大変参考になる講演でした。

報告技術は、2会場で31技術の報告が行われ、環境に対する配慮や対策などをテーマとする「環境の保全と創造」が10課題、コスト削減をテーマとする「良いものを安く」が9課題と多くの報告があり、いずれのテーマも最近の話題を象徴するものでした。

また、質疑応答時間では、聴講者から発表者へ質問・提言などが出され活発な意見交換が行われました。

今回の建設技術報告会開催にあたり、多大なご協力をいただいた発表者及び関係者の方々に心より御礼申し上げます。



発表状況



閉会・講評
「建設技術報告会」実行委員長 柳沢 今朝次郎
(北陸地方整備局北陸技術事務所長)

報告技術のテーマ別課題数	
雪に強い地域づくり	5課題
良いものを安く	5課題
自然災害からの安全確保	9課題
環境の保全と創造	10課題
ゆとりと福祉	2課題



技術報告

ページが表示されました

インターネット

記念講演者プロフィール

農学博士 高橋 剛一郎 (たかはし ごういちろう)
富山県立大学短期大学部助教授



講演内容 『溪流環境の構造と保全』

溪流は、水・土砂・植生が関わりあってダイナミックな生態系を形成しています。これを保全するための基礎的な知見を紹介します。

- 専門分野 ----- 林学、砂防学
現在の研究課題 ----- 自然環境の保全と調和した砂防・治山工法に関する研究
学歴(経歴) ----- 北海道大学農学部卒業
北海道大学大学院農学研究科林学専攻博士課程(前期)
委員 ----- 立山カルデラ砂防博物館運営委員
主な著書 ----- 共著「砂防学概論」(鹿島出版会1991)
編著「溪流生態砂防学」(東京大学出版会1999)

平成14年度 建設技術報告会

主催 北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会
国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、
日本道路公団北陸支社、(社)新潟県建設業協会、(社)富山県建設業協会、
(社)石川県建設業協会、(社)日本土木工業協会北陸支部、
(社)日本道路建設業協会北陸支部、(社)日本建設機械化協会北陸支部、
北陸土木コンクリート製鉄技術協会、
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部、
北陸PC防雪技術協会、北陸建設リサイクル協会、新潟県融雪技術協会、
(財)新潟県建設技術センター、北陸地質調査業協会、
(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(社)北陸建設弘済会
事務局 北陸地方整備局北陸技術事務所
TEL. 025-231-1281
ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokug1/>

一建設分野の新技术・新工法一

平成14年度 建設技術報告会

プログラム

日時 平成14年 10月17日(木) 9:30~17:00
会場 ポルファートとやま 富山市奥田新町81

schedule

- 9:30 ● 開会式(ポルファートホール)
9:40 ● 記念講演(ポルファートホール)
『溪流環境の構造と保全』
農学博士 高橋 剛一郎(たかはし ごういちろう)
富山県立大学短期大学部助教授
10:50 ● 技術報告(第一会場: 4階 琥珀の間
第二会場: 4階 珊瑚の間)
技術報告数: 31技術
☆技術報告のテーマ
① 雪に強い地域づくり
② 良いものを安く
③ 自然災害からの安全確保
④ 環境の保全と創造
⑤ ゆとりと福祉
16:50 ● 閉会・総括(第一会場: 4階 琥珀の間)

Program プログラム

開会式・記念講演 -- ポルファートホール 2F --
9:30 挨拶 北陸地方整備局 企画部長 的場 純一
9:40~10:40 記念講演 『溪流環境の構造と保全』
富山県立大学短期大学部助教授 高橋 剛一郎

<技術報告>

第一会場 -- 琥珀の間 4F --

- 10:50~12:00
テマ② NDR工法(水中構脚耐震補強のための仮橋切り工法) 佐々木 広輝(五洋建設)
テマ② 吊床構造を応用したPC曲弦トラス橋の建設 伊藤 公彦(住友建設)
テマ② 道路消雪井戸の点検修繕効率化技術の開発 藤原 賢二(興和)
テマ② 性能規定(低騒音)対応舗装の汎用化へのアプローチ 橋谷 達也(北川ヒューテック)
12:00~13:00 昼 食
13:00~14:10
テマ② 乳剤散布装置付アスファルトフィニッシャーによる高機能舗装 反藤 敏志(新キャタピラー三製機)
テマ② 性能規定発注方式における排水性舗装の施工事例 池田 孝司(前田道路機)
テマ② SSPDマット(舗装補強型防水マット) 加藤 幸夫(飛鳥道路機)
テマ⑤ 電線共同溝の標準化について 田村 三知行(新和コンクリート工業機)
14:10~14:20 休 憩
14:20~15:30
テマ① 凍結抑制舗装『ザベック工法タイプG』 上田 広(世紀東急工業機)
テマ① 表面処理型機能舗装 RAペーパー 長屋 隆三(大林道路機)
テマ① 一般道路路面管理に即応する舗装一表面排水性舗装『スーパーエスマック』 水門 征男(日本舗道機)
テマ③ 雪崩および落石の数値シミュレーションについて 小村 辰彦(東京コンサルタンツ機)
15:30~15:40 休 憩
15:40~16:50
テマ③ 地下空間浸水防止施設の開発 内田 浩勝(豊田工業機)
テマ④ 移動式フォームドプラントにより強化路盤を構築するSKP工法 渡邊 貴子(鹿島道路機)
テマ④ 環境に配慮した高性能乳剤について 小林 祐子(福田道路機)
テマ④ 車道用半たわみ系保水性舗装『フルロード』について 辻 井 慶(大成ロテック機)
16:50 閉 会 北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会委員長
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長) 柳沢 今朝次郎

<技術報告>

第二会場 -- 珊瑚の間 4F --

- 10:50~11:45
テマ③ 景観及び自然斜面特性を考慮した新しい斜面安定工法について 女川 欣邦(ダイテック)
テマ③ 岩盤斜面のくさび崩壊メカニズムと対策工法 中村 三雄(日本工営機)
テマ③ 富山県土砂災害情報システム(SABONIA)について 西出 義章(富山県)
11:45~13:00 昼 食
13:00~14:10
テマ④ 河川改修とイタセンバラの共存 越田 宗彦(富山県バイオブ研究会)
テマ④ 底位置換型砂工法の開発 上野 成三(大成建設機)
テマ④ 高濃度汚濁浄化装置による湖沼浄化について 吉井 智彦(脚本機組)
テマ④ 自然循環方式水処理システム 鈴木 輝彦(鉄建建設機)
14:10~14:20 休 憩
14:20~15:30
テマ④ 新しい廃棄物最終処分システムの紹介 喜多 利明(関大林組)
テマ④ 自走式土質改良機による建設発生土の現場内利用 小泉 敏之(コマツ)
テマ④ 地下水流動阻害対策としての両面型壁内井戸工法 高坂 信章(清水建設機)
テマ⑤ 交通振動低減のための防振ゴムを敷設する工法『MEM工法』 朝倉 浩史(真研建設機)
15:30~15:40 休 憩
15:40~16:50
テマ① アフタークレーン付きポータブルエアコンプレッサ PDS-Cタイプ 高橋 正樹(北越工業機)
テマ① 新潟大堰戸り修繕工事の施工実績について 藤村 慶介(鹿島建設機)
テマ② 核種のプレキャスト施工技術 河辺 知之(佐伯建設工業機)
テマ② 小倉ダムに於けるコア・フィルタ転任管理システムについて 池内 潤(帆フジタ)

技術報告テーマ

- ① 雪に強い地域づくり ② 良いものを安く ③ 自然災害からの安全確保 ④ 環境の保全と創造 ⑤ ゆとりと福祉

平成14年度「建設技術報告会」
質問用紙
(質問したい事柄を記入して下さい)

1. 質問したい報告技術名 _____

2. あなたの連絡先

会社名・所属 _____

住所 _____ Tel _____
Fax _____

氏名 _____

○質問事項

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

* 当日回答できなかった場合には後日、発表者より連絡して頂きます。

質問用紙(A4版片面)

平成14年度
建設技術報告会報文集

平成14年10月

北陸地方建設事業推進協議会
建設技術報告会実行委員会

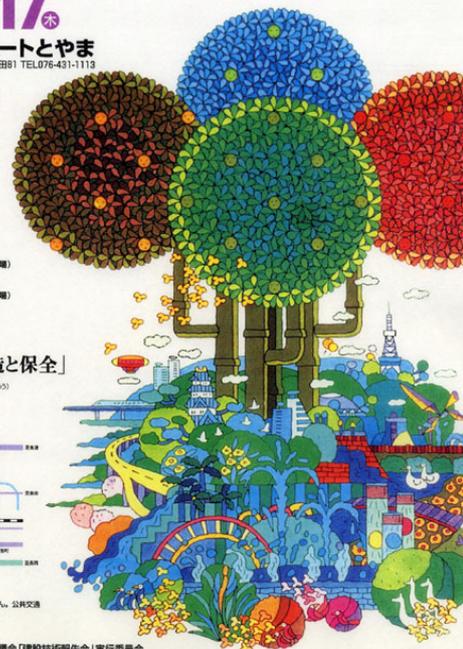
報文集(A4版 140頁)

建設分野の新技术・新工法
平成14年度
建設技術報告会
平成14年 10/17(木)
●会場 ボルファートとやま
富山県富山市東田新田81 TEL076-431-1113

聴講無料
聴講には申込みが必要となります。
ただし、定員に限り次第となります。

schedule
9:30 開会(ホール)
9:40 記念講演(ホール)
10:50 技術報告(第一第二会場)
12:00 休 息
13:00 技術報告(第一第二会場)
16:50 閉会(第一会場)

■記念講演
「溪流環境の構造と保全」
高橋 剛一郎 (たかはし ことしゆき)
富山県立大学工学部助教授



●富山駅から徒歩5分(350m)
なお、本会場には特別駐車場がございません。公共交通機関をご利用下さい。

主催：北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会
協賛：富山県、石川県、日本建設公団北陸支社、北陸新幹線建設協会、北陸山形建設協会、北陸川内建設協会、北日本土木工業協会北陸支会、北日本建設協会北陸支会、北日本建設機械協会北陸支会、北陸土木コンクリート製品技術協会、北陸スチール・コンクリート建設協会北陸支会、北陸中の建設協会、北陸建設ライオン会、北陸建設協会、北陸建設センター、北陸建築協会、北陸建設コンクリート協会北陸支会、北陸建設協会

●お申し込みは——事務局：北陸地方建設推進北陸技術事務所 TEL 025-231-1281 ホームページアドレスhttp://www.brr.nitk.go.jp/hokusei/

ポスター(A2版)

5. アンケート

1) アンケート内容

「平成14年度 建設技術報告会」アンケート

平成14年度「建設技術報告会」実行委員会

※回答は、記入型の設問以外は記号を○で開んでください。

図1.

①あなたの性別は、
 イ. 男 ロ. 女

②あなたの年齢は、
 イ. 19歳以下 ロ. 20歳代 ハ. 30歳代
 ニ. 40歳代 ホ. 50歳代 ヘ. 60歳以上

③あなたの職業・職種は、
 イ. 国土交通省 ロ. 県 ハ. 市町村
 ニ. 公団 ホ. イ～ニに属さない官公庁（機関名：）
 ヘ. 建設関連の会社（技術職） ト. 建設関連の会社（事務職）
 チ. 建設関連の協会・団体 リ. その他（）

④あなたは主にどの分野の仕事にたずまわっていますか。
 イ. 河川 ロ. 道路 ハ. 港湾空港 ニ. 営繕
 ホ. 共通（） ヘ. その他（）

⑤どこから来られましたか。
 イ. 富山市内 ロ. 富山市を除く富山県内
 ハ. 新潟県 ニ. 石川県 ホ. その他（）

⑥この報告会を何で知りましたか。
 イ. ポスター・チラシ ロ. 新聞 ハ. ホームページ
 ニ. 協会・団体からの案内 ホ. 国土交通省・県からの案内
 ヘ. 学校 ト. くちこみ チ. その他（）

図2.

①建設事業への新技術導入の必要性についてどう思われますか。
 イ. 必要性を感じる ロ. 多少感じるが急務の問題ではない ハ. 特に問題意識はない

②上記①で「イ. 必要性を感じる」または「ロ. 多少感じるが急務の問題ではない」に○をされた方はどの分野に必要性を感じますか（複数回答可）。
 イ. 雪に強い地域づくり・・・「克雪対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等
 ロ. 良いものを安く・・・「コスト削減技術」、「省力化技術」、「生産性向上技術」等
 ハ. 自然災害からの安全確保・・・「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」、「危機管理技術」等
 ニ. 環境の保全と創造・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
 ホ. ゆとりと福祉・・・「生活者の安全健康技術」、「情報化技術」等
 ヘ. その他（）

③新技術導入のネックとなっているものがあるとしたら、それは何ですか。
 イ. 経費的なもの ロ. 積算体系等制度的なもの ハ. 新技術に関する情報不足
 ニ. その他（）

（裏面に続きます）

表

④この報告会で参考になった、または導入したいと思った新技術の分野は何ですか（複数回答可）。
 イ. 雪に強い地域づくり・・・「克雪対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等
 ロ. 良いものを安く・・・「コスト削減技術」、「省力化技術」、「生産性向上技術」等
 ハ. 自然災害からの安全確保・・・「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」、「危機管理技術」等
 ニ. 環境の保全と創造・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
 ホ. ゆとりと福祉・・・「生活者の安全健康技術」、「情報化技術」等
 ヘ. その他（）

図3.

①今後この報告会があった方が良いと思いますか。
 イ. 思う ロ. 思わない ハ. 内容による

②上記①で「ロ. 思わない」に○をされた方はその理由を、「ハ. 内容による」に○をされた方はどのような内容を望まれるのかをご記入下さい。

③開催時期はいつが良いと思いますか。
 イ. 今の時期が良い ロ. その他（） 月 日

④開催地はどこが良いと思いますか。
 イ. 今回の開催地が良い ロ. 新潟県、富山県、石川県で順番に開催 ハ. その他（）

図4. この報告会の報告形式や会場設営についてご意見がありましたらご記入ください。

図5. その他、この報告会について感じたことがありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

※この用紙は第一会場、第二会場前のアンケート回収箱に投函して下さい。

裏

2) アンケート回収率

(1) アンケート回答数

	官公庁	民間	計
アンケート配布数	151	441	592
回答数	75	193	268
回答率(%)	49.7%	43.8%	45.3%

6. 開催状況写真



開会挨拶
北陸地方整備局 企画部長 的場 純一



記念講演
富山県立大学短期大学部助教授 高橋 剛一郎 氏



記念講演聴講状況



第一会場発表状況



第一会場聴講状況



第一会場質疑応答



第二会場発表状況



第二会場聴講状況



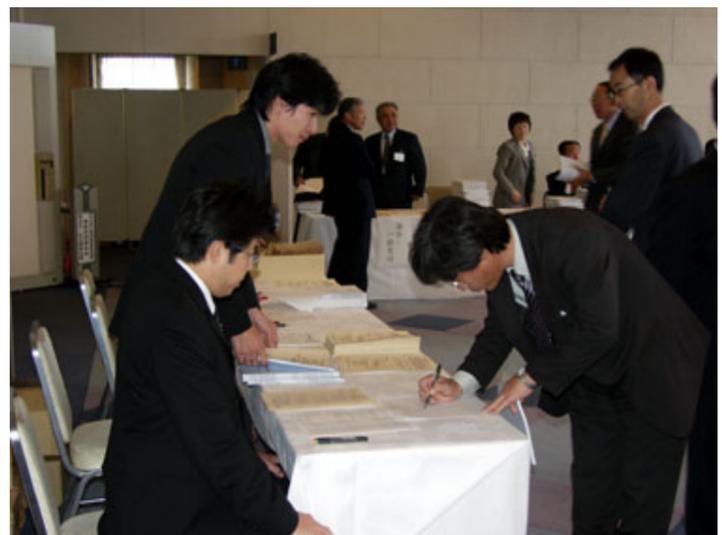
第二会場質疑応答



閉会挨拶 「建設技術報告会」実行委員長
柳沢 今朝次郎(北陸技術事務所長)



2Fロビー 受付状況



2Fロビー 受付状況



4Fロビー 受付状況



第一会場脇アンケート回収状況



第二会場脇 アンケート回収状況



入館状況